



御無沙汰ばかり御座り
 申す事なれども手紙
 難有るに思ひます
 惜この七日書地芝子供
 年にも御座り向の片
 恥行あることにはよつこのま
 うの心何れと二たつきをう
 或は記をよく伝せぬか
 やりませぬ書来心付
 はぬやめこすきすが戸一か
 送り書来あつた際何
 卒女しからがあおし



送りて来まふた際は何
事なしからぶあおしつゝ

きー 丁度傍にのぞいた

事か、はわたしのをた送

りしこやさせかこ申し

ましたかぬらかくゆめの

おまじらさせこすまめにおよ

しからたらばこたさるを

んせつさつきー 弘の芝

おどこ、忠実さー たらは

生ぐらゝあせしゆしすか。

了に合ひきー ちちのあ載

のそりか難かりんし
あ

ねとりあつか

御記事



東 齋 小 市 小 衣 川 己 雜 司
 所 宿 河 一 回 回
 本 間 久 根 林

三 日
 三 日

沼 津 介
 上 考 會 員

若 山 村 水

本 間 久 根 林

若 山 村 水

及 与 有 一 方
 沼 津 介 中 心